



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 藤倉化成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長 (氏名) 土谷 豊弘 TEL 03-3436-1101

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 無

決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	42,656	6.9	1,132	15.7	1,829	37.7	1,157	61.2
2024年3月期第3四半期	39,921	3.1	979	165.3	1,328	143.9	718	265.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,574百万円(△16.4%) 2024年3月期第3四半期 3,079百万円(△0.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	38.29	-
2024年3月期第3四半期	23.29	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	59,380	42,952	68.4
2024年3月期	57,609	41,581	68.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 40,634百万円 2024年3月期 39,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	8.00	-	8.00	16.00
2025年3月期	-	9.00	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	-	-	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	8.3	1,900	46.3	2,000	8.3	1,200	11.6	39.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更: 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	30,850,000株	2024年3月期	30,850,000株
2025年3月期3Q	951,036株	2024年3月期	20,836株
2025年3月期3Q	30,230,064株	2024年3月期3Q	30,829,164株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー: 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	2
	(1) 当四半期の経営成績の概況	2
	(2) 当四半期の財政状態の概況	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(会計方針の変更に関する注記)	8
	(セグメント情報等の注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
	(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復の動きが見られましたが、原材料・エネルギー価格の高騰や円安基調による物価上昇により先行き不透明な状況が続くものと思われれます。海外経済におきましてはウクライナ・中東情勢の長期化、欧州における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う海外景気の下振れリスク、米国新政権の今後の政策動向等、景気への懸念事項が多く、今後も先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は426億56百万円（前年同期比6.9%増）となり、営業利益は11億32百万円（同15.7%増）、経常利益は18億29百万円（同37.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億57百万円（同61.2%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』等）を取扱うコーティングセグメントにおきましては、自動車向け塗料の国内の販売は、一部顧客の生産停止の影響等もあり低調に推移いたしました。海外の販売は、北米の販売が堅調だった一方、中国、欧州、タイの販売が低調な結果となりました。非自動車分野では、化粧品容器用塗料は新規案件の獲得等もあった一方、国内市場の販売不振を受け、低調に推移いたしました。また、ホビー用塗料におきましては、中国を中心とした海外での販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は223億85百万円（同0.6%増）となり、営業利益は6億64百万円（同26.7%減）となりました。

② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料セグメントにおきましては、新築用塗料では、主要顧客の回復が想定から遅れており前年を下回る結果となりました。リフォーム用塗料では、主要顧客向けに新製品を投入する等シェアアップに取り組む、受注が増加したことにより、販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は88億98百万円（同3.4%増）となり、営業利益は2億63百万円（同60.7%増）となりました。

③ 電子材料

導電性樹脂材料（『ドータイト』）等を取扱う電子材料セグメントにおきましては、PC向けやカーナビディスプレイ向け製品の販売が好調に推移いたしました。また、車載用のシートベルト向け製品において後部座席の着用義務化の動きもあり需要が底堅く推移しております。

この結果、売上高は30億28百万円（同22.9%増）となり、営業利益は52百万円（前年同四半期は営業損失1億10百万円）となりました。

④ 化成品

トナー関連材料、粘・接着剤ベース（『アクリベース』）やメディカル材料を取扱う化成品セグメントにおきましては、トナー関連材料、粘・接着剤ベース関連向けは概ねすべての分野で好調な結果となりました。メディカル材料分野におきましては、糖尿病診断薬はほぼ前年並みでしたが、その他の分野で苦戦を強いられ低調に推移いたしました。

この結果、売上高は34億86百万円（同9.7%増）となり、営業利益は1億47百万円（同1,881.7%増）となりました。

⑤ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社等が取扱う、樹脂製品の仕入・販売を行う合成樹脂セグメントにおきましては、上期に好調に推移した新規獲得案件の北米向けのアクリル樹脂原料の販売において下期に入り供給過多となり、低調に推移しております。また、リチウムイオン電池用増粘剤の販売も引き続き低調な結果となりました。

この結果、売上高は48億60百万円（同42.0%増）となり、営業利益は6百万円（同48.6%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ17億71百万円（前連結会計年度末比3.1%）増加し、593億80百万円となりました。

① 流動資産

現金及び預金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ6億44百万円（同1.9%）増加し、337億68百万円となりました。

② 固定資産

投資有価証券の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ11億27百万円（同4.6%）増加し、256億12百万円となりました。

③ 流動負債

短期借入金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ2億93百万円（同2.3%）減少し、123億12百万円となりました。

④ 固定負債

繰延税金負債の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ6億93百万円（同20.2%）増加し、41億16百万円となりました。

⑤ 純資産

その他有価証券評価差額金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ13億71百万円（同3.3%）増加し、429億52百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の68.1%から68.4%へと0.3ポイント増加となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より85円62銭増加し、1,359円4銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想は、2024年5月14日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,335,882	13,306,444
受取手形	1,179,591	960,955
売掛金	10,046,200	10,194,159
商品及び製品	5,183,572	5,041,050
仕掛品	136,898	138,703
原材料及び貯蔵品	3,325,193	3,336,374
その他	1,088,549	933,811
貸倒引当金	△171,671	△143,407
流動資産合計	33,124,214	33,768,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,694,687	14,124,350
減価償却累計額	△8,501,341	△8,598,994
建物及び構築物 (純額)	6,193,346	5,525,356
機械装置及び運搬具	17,390,110	17,325,473
減価償却累計額	△14,491,618	△14,432,731
機械装置及び運搬具 (純額)	2,898,492	2,892,742
工具、器具及び備品	5,684,230	5,709,292
減価償却累計額	△4,980,938	△4,982,640
工具、器具及び備品 (純額)	703,292	726,652
土地	4,707,119	4,499,557
リース資産	1,173,377	1,177,413
減価償却累計額	△492,564	△537,768
リース資産 (純額)	680,813	639,645
建設仮勘定	394,756	417,772
有形固定資産合計	15,577,818	14,701,724
無形固定資産		
ソフトウェア	470,636	452,896
その他	959,059	902,098
無形固定資産合計	1,429,695	1,354,994
投資その他の資産		
投資有価証券	4,249,364	6,020,121
長期貸付金	136,114	134,024
繰延税金資産	164,553	240,724
退職給付に係る資産	534,767	673,273
その他	2,530,469	2,625,163
貸倒引当金	△137,659	△138,014
投資その他の資産合計	7,477,608	9,555,291
固定資産合計	24,485,121	25,612,009
資産合計	57,609,335	59,380,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,670,836	6,779,628
短期借入金	2,816,945	2,374,971
リース債務	175,836	188,504
未払法人税等	135,917	168,492
未払費用	1,152,069	1,204,277
賞与引当金	588,455	524,869
その他	1,064,945	1,070,839
流動負債合計	12,605,003	12,311,580
固定負債		
リース債務	371,609	327,525
繰延税金負債	30,966	648,820
退職給付に係る負債	2,644,013	2,766,590
長期未払金	9,075	8,994
その他	367,821	364,482
固定負債合計	3,423,484	4,116,411
負債合計	16,028,487	16,427,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,032,320	5,032,320
利益剰余金	23,388,402	24,030,148
自己株式	△10,688	△510,684
株主資本合計	33,762,155	33,903,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,395,203	2,619,790
為替換算調整勘定	4,119,579	4,098,269
退職給付に係る調整累計額	△18,427	11,795
その他の包括利益累計額合計	5,496,355	6,729,854
非支配株主持分	2,322,338	2,318,348
純資産合計	41,580,848	42,952,107
負債純資産合計	57,609,335	59,380,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	39,920,795	42,656,426
売上原価	28,265,023	30,311,658
売上総利益	11,655,772	12,344,768
販売費及び一般管理費	10,677,268	11,212,950
営業利益	978,504	1,131,818
営業外収益		
受取利息	79,739	110,188
受取配当金	90,083	135,374
固定資産賃貸料	50,035	55,753
持分法による投資利益	37,602	84,586
投資有価証券売却益	214,492	11,104
為替差益	-	275,582
その他	72,992	127,839
営業外収益合計	544,943	800,426
営業外費用		
支払利息	97,268	75,586
為替差損	79,452	-
固定資産除却損	5,360	3,864
その他	13,584	24,079
営業外費用合計	195,664	103,529
経常利益	1,327,783	1,828,715
税金等調整前四半期純利益	1,327,783	1,828,715
法人税、住民税及び事業税	287,439	526,030
法人税等調整額	90,171	3,391
法人税等合計	377,610	529,421
四半期純利益	950,173	1,299,294
非支配株主に帰属する四半期純利益	232,030	141,824
親会社株主に帰属する四半期純利益	718,143	1,157,470

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	950,173	1,299,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	199,835	1,221,239
為替換算調整勘定	2,011,134	24,055
退職給付に係る調整額	△74,589	30,222
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,200	△445
その他の包括利益合計	2,129,180	1,275,071
四半期包括利益	3,079,353	2,574,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,702,263	2,390,969
非支配株主に係る四半期包括利益	377,090	183,396

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	22,252,203	8,607,009	2,462,938	3,176,131	3,422,514	39,920,795
外部顧客への売上高	22,252,203	8,607,009	2,462,938	3,176,131	3,422,514	39,920,795
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	92	59,515	59,607
計	22,252,203	8,607,009	2,462,938	3,176,223	3,482,029	39,980,402
セグメント利益又は損失(△)	905,723	163,584	△110,319	7,396	12,384	978,768

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	978,768
セグメント間取引消去	△264
四半期連結損益計算書の営業利益	978,504

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	22,384,830	8,897,650	3,028,092	3,485,615	4,860,239	42,656,426
外部顧客への売上高	22,384,830	8,897,650	3,028,092	3,485,615	4,860,239	42,656,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	21	12	-	131	63,863	64,027
計	22,384,851	8,897,662	3,028,092	3,485,746	4,924,102	42,720,453
セグメント利益	663,593	262,854	51,734	146,569	6,362	1,131,112

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,131,112
セグメント間取引消去	706
四半期連結損益計算書の営業利益	1,131,818

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式930,200株を499,996千円で取得しました。

この自己株式の取得により、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は510,684千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,159,613千円	1,280,212千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。